

兵庫県保険医協会 但馬支部ニュース

No. 109

2009年4月15日発行

発行 兵庫県保険医協会但馬支部
連絡先 〒668-0373 豊岡市但東町久畑1 2 6
高橋診療所 TEL/0796-55-0036 FAX/0796-55-0008

但馬支部市民公開企画 映画『シッコ』上映会

「日本の医療 考える機会に」 ～映画『シッコ』上映会に182人参加～



医療従事者、市民ら幅広い職種の参加を得た

協会但馬支部は、市民公開企画として3月29日（日）に出石・ひぼこホールで映画『シッコ』上映会を開催。182人の市民らが参加した。開催にあたり、但東の健康と医療を守る会、たじま医療生活協同組合、東播建設労働組合但馬支部の共催を得た。

開会挨拶で新田誠支部長と藤井高雄支部幹事は「この映画で描かれているアメリカの医療は、日本の医療の近未来である。映画を通じて日本の医療について理解を深めていただくとともに、日本の皆保険制度を守り、拡充していこう」と訴えた。

（2面につづく）

（1面からつづく）

参加者からは「日本の皆保険制度を守ろう」、「日本の医療の近未来を見ているようで、身につまされた」などの声が寄せられ（以下詳細）、医療崩壊が進む日本において、日本の医療制度を今一度見つめなおし、考えるきっかけとなった。

映画『シッコ』上映会は、米国の絶望的な医療の現状を見ながら、市民に日本の医療の今と未来について、理解を深めてもらおうという考えのもと、但馬支部市民公開企画として、昨年支部総会（7/13）と今回の上映会の2会場で3回上映し、延べ290人の医療従事者、市民らが参加した。

上映会開催にあたり、広範な参加を呼びかけようと、但東の健康と医療を守る会、たじま医療生活協同組合、兵庫県看護協会但馬支部、東播建設労働組合但馬支部などと共催で取り組んだ。



（写真上右）開会挨拶をする新田支部長（写真上左）司会を務めた藤井支部幹事（写真下右）多数の市民らが参加（写真下左）会場では、たじま医療生協が健康チェックコーナーを開設

参加者より寄せられた声

（1）映画の感想

◇ アメリカの実情にショックを受けた。また、カナダ・イギリス・フランス・キューバの医療、福祉の充実にもびっくりした。日本がアメリカにならって、国民皆保険制度を改悪していくことを放置できないと強く感じた。

◇ 今、日本でこんなにも命が軽視されている。その先端を行っているアメリカの実態がよく理解できた。一方でフランス・キューバのように国民の命を大切にしている国々。同じ地球の上に生きながら、その違いを事実をもって表現している映画『シッコ』に感動した。

（2）日本の医療について考えること

◇ カナダ・フランス・キューバなどのように、皆無料で医療が受けられるにはどうすればよいのでしょうか？理想ですが、医療についてもっと勉強したいと思いました。

◇ 介護保険料を引き下げて欲しい。

◇ 医療も保険も危ない。日本もアメリカのようになってきていることを実感します。

（3）今後、但馬支部で市民公開企画として 取り上げて欲しいテーマなど

◇ 笑いは健康に良いと聞きます。思いっきり笑える企画もたまにはよいですね。

◇ テーマは思いつきませんが、今後も広く市民が集える企画を期待しております。

幹事会だより

3月21日(土)豊岡市民会館で第117回幹事会を開いた(3人出席)。以下、主に議論された内容を報告する

- 但馬地域の病院・診療所では、医師不足により、規模縮小などが相次いでおり、引き続き深刻な状況が続いている。一方で、地域開業医が病院勤務医の応援に、輪番で休日救急外来を担当し、地方の医療崩壊ストップの役割を担っている。今後も、住民と共に地域医療を守る取り組みを続けていく。
- 「mixi (ミクシィ・紹介制ネットワークサービス)」など無料ネットワークサービスなどを活用し、但馬地域の会員の先生方や医療福祉関係者らの双方向ネットワークを構築し、広範な相互交流を深めたい。
- 若手の先生方のニーズを把握するためにも新規開業医懇談会を企画してはどうか。時宜にあったテーマの企画とセットで開催したい。
- 「在宅医療点数研究会」、「介護報酬改定研究会」、「保険請求事務講習会」など、各幹事から出された提案の具体化に向け準備を進めていく。
- 協会のホームページに但馬地域の病院の医師名簿を閲覧できるようにしてほしい。

※次回幹事会は、5月16日(土)にじばさん但馬にて開催予定。会員の先生は、どなたでもご参加いただけます。お問合せは、協会事務局 078-393-1807 まで。

春の共済制度普及 4月1日 受付開始!

保険医協会の団体定期保険

<毎月10日締切> (翌々月1日発足)

グループ保険

新規・増額
加入受付!

- 団体保険だから断然安い保険料
- 最高5000万円の高額保障 / 配偶者1000万円セット加入あり
- 毎年高配当を維持、昨年度配当は46%
- ライフプランに合わせていつでも増額・減額できます
- 保険金額に関わりなく、面倒な医師による診査は不要

万ーのためのコストは安さが魅力です。この機会にご加入ください!

公的保障の乏しい医師・歯科医師の 6月25日締切 (9月1日発足)
老後設計に最適

保険医年金

現在の予定利率1.256%

自在性が魅力! 急な出費にも1口単位で解約可能 / 払込が困難なときは掛金中断、余裕ができたなら掛金再開 / 年金受給時には10年・15年定額、15年・20年通増年金から選択、または一括受取 / 万ーの時はご遺族に全額給付

- 月 払: 1口1万円 ~ (通算30口まで)
- 一時払: 1口50万円 ~ (毎回40口まで)

お問合せは共済部まで ☎ 078-393-1805

兵庫県保険医協会但馬支部

医科向け 在宅医療点数研究会のご案内

「往診と訪問診療の違いは？」「居住系施設とはどんな施設？」
「退院月の在宅医療点数の算定は？」「訪問診療料2はどんな患者に算定できるのか？」
など、在宅医療に関する保険請求の基本から具体的な事例について解説

日 時 4月18日(土) 午後5時～7時
会 場 豊岡かぼん協会5階会議室（じばさん但馬ビル5階）
豊岡市大磯町1番79号 TEL 0796-24-5551
講 師 保険医協会但馬支部 下山均先生
定 員 80人（定員になり次第締め切り）
参加費 テキスト代 2,000円（テキスト不要の場合は無料です）

2008年4月の診療報酬改定では、在宅の概念の変更が行われ、居住系施設の点数が導入され、訪問診療料2や特定施設入居時等医学管理料などの点数が新設されました。しかし、訪問診療料2は、同一施設の入居者に対して1人ごとに算定できる一方で、点数は200点と在宅患者訪問診療料1の830点に比べて大幅に引き下げられ、特定施設入居時等医学総合管理料も在宅時医学総合管理料の7割程度の点数に抑えられました。同様に居住系施設入居者等に対する訪問看護や訪問リハビリなどについても引き下げられました。

その他、一部の在宅療養指導管理料の算定患者に併せて算定できない処置や注射について、薬剤や特定保険医療材料も別に算定できなくなるなど、年々複雑になってきています。

研究会では、「在宅医療」に関わる保険請求について、昨年10月発行の『在宅医療点数の手引』を使用して、今年の改定のポイントを中心に解説します。

先生はじめ事務の方々も奮ってご参加ください。

※『2008年度版 在宅医療点数の手引』テキストのみの購入も可能です
下記申込書をご利用下さい（1冊2,000円 1冊まで送料無料）

お問い合わせは、担当事務局 足立 TEL/078-393-1807 まで

兵庫県保険医協会但馬支部 在宅医療点数研究会 参加申込書 **FAX 078-393-1802**

氏名	職種	テキスト（○印を）
		要・不要
		要・不要
		要・不要

※研究会参加の場合、上記に氏名、職種、テキストの要・不要についてご記入してください。

テキストのみ購入 『2008年度版 在宅医療点数の手引』（ ）冊

市町名（ ） 医療機関名（ ）

TEL（ ） FAX（ ） 会場地図【要・不要】